



第九で締めた

40周年記念

関 義豊

昨年度は町発足40周年記念事業が数々催されました。

その中の圧巻は何と言っても十二月に行なわれた、東部町第九演奏会であると思います。私達町民が積み重ね培って来た、町の文化が一度に花開いたように思いました。いま振り返ると、サンテラスホールの外は、音もなく降る雪の夜でした。東京フィルハーモニー交響楽団の奏でる響きの中に、第九を歌う会員の歌声は会場にこだまして、ときには荘厳にときには絢爛として、その喜びに溢るる華麗なる時間は、満員の会場の皆さんの熱気と共に過ぎてゆきました。この歌声はいつまでもあの感激となつて思いを新たにしてくれます。

これも第九を歌う会の皆さんが、一年余に渡る血の滲むようなご努力と、地域文化を画期的に掘り起こした賜と、ここに改めて敬意を表したいと思います。

私達はこれからも町制40周年を基にして、町の目標の「うるおいと活力のあるまちづくり」に向って、私達町民がみんなで頑張つて延びてゆきたいと思ひます。

文化功労賞 本海野 丸山光夫氏が受賞



さる九月二十日、町制発足四十周年式典にて前会長、丸山光夫氏（本海野）が長年の文化協会役員そして、また文化振興に尽くされた功績に対して表彰されました。

文化協会発足当初、写真クラブ会長、写真部会長、文化協会副会長、その後会長となり今日の協会の基を作っていたいただきました。

「来期は『七宝焼』を、新しく協会に加えていただきたい」と手芸品にも目を向けられ、美に対して一層意欲をもやしておられます。

これからもより一層町の文化活動一翼としてがんばってください。

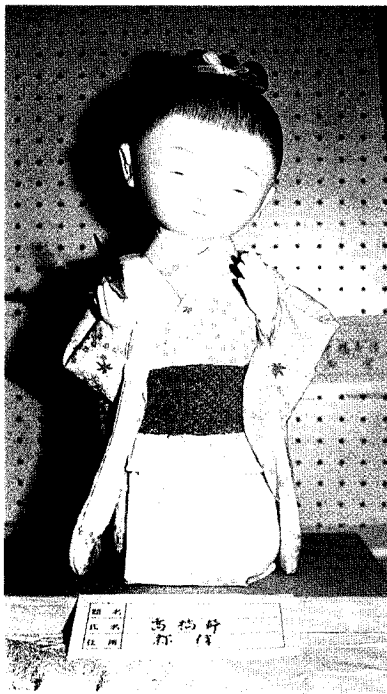
部会訪問

人形部会

人形の優しい眼差に

魅せられて

人形部会は、現在6グループで80名の人が参加しております。発足以来13年間も続いている、グループもあります。年令も90才、89才、86才と続き、皆、血のつながった、姉妹のような、感覚で、楽しく、作っています。日本人形というと、着物姿で、日本髪と想像していたのですが、拝見したお人形は、現代風の愛らしい作品ばかりで、本当にびっくりしました。一つ一つの何とも言えない眼差が、人形作りへと、心をかりたてるのかな？と思いました。



一年間に押絵3つ、人形1つを完成目標に、励んでいますとの事でした。「この年になっても、皆さんに教えさせていただける幸福と物を作る事に喜びを感じております」とおっしゃる高橋先生は嬉嬉として輝ておりました。

グループ紹介

かぎりない手法藤手芸

藤青会 被村鈴子



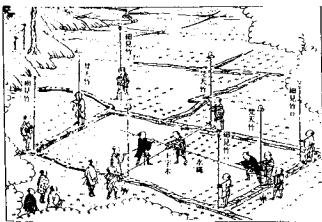
手を動かして巧みに編み込み、頭の体操になる藤手芸、月一回各々の作品に取り組んでおります。又勉強した技術を生かして、女性学級の皆さんや、ふれあい広場で子供達と共に、学ぶのも楽しみの一つです。そのほか、他地区の藤グループの方々と交流し、親睦を計っております。皆さんも、挑戦してみませんか。

温故染己

古文書クラブ

「古きを温めて新しきを知る」といいますが、それは勿論ながら、さらに「自分を楽しむ」ことをモットーにした平均年令七(七)才の小グループです。

月に一回、郷上に伝わる近



江戸時代の横地の図

世文書を中心に読み合わせ、話し合いをし語いを楽しんでおります。古文書に興味のある方、気軽に御参ください。

「水墨の濃淡に魅せられて」

青墨会 五十嵐忠一



私達青墨会は、七年前町公民館の生涯学習終了者により結成され、その後は毎年度終了者の中から同じ目的で入会した者現在十三名(男性6名、女性7名)で栗田先生の指導の下、毎月二回の例会は休むことなく、水墨の濃淡をいかに表現できるかと例会には、必ず作品を持ちよつて先生の講評をいただき次回の作品向上に努めています。

輪を広げる琴

すみれ会



大正琴の音色に引かれて琴の好きな仲間が佐藤先生の指導のもと毎月夜二回の練習です。お茶の輪も持ち楽しいひとときを過ごしています。私達も那楽部会の皆様とさらに友好の輪を広げ、今後

も練習を重ねて発表会に参加して行きたいと思えます。琴は弾きやすい楽器でありますので皆様も参加してみませんか。

草木染め和紙を使って

ちぎり絵 佐藤充子



「上手に出来ましたね。この山もう少し小さい方が…」などと先生のアドバイス。出来た作品を並べて「まるで油絵の様だ」とか喜びを分かちあう時の楽しさは格別です。先生が草木を採集して染めた和紙を使用させていただいているからだと思います。特製和紙の美しさにまけぬ作品を作りたいと、一同がんばっています。

国際交流サークル

代表 石川力子



スリランカ少年の教育里親として、私達は小さな国際交流をしています。町では深井の関マドカさんにスリランカ料理を、日向が丘の浅川京子さんに中国料理を習つて、本場の味と各国の人と楽しい交流をしました。玉村豊男氏の講演と会場のすみれやからの夜景を出席者に嬉こんでいただいた会を催しました。本年も料理講習や楽しい交流を予定しています。(新田)

第13回 総合文化フェスティバル

11月1日～3日 中央公民館に於いて



パッチワーク



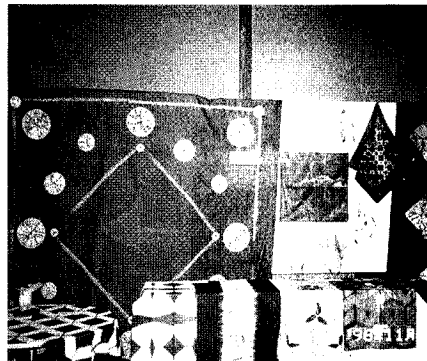
フラワーアレンジメント



身障者コーナー



絵画

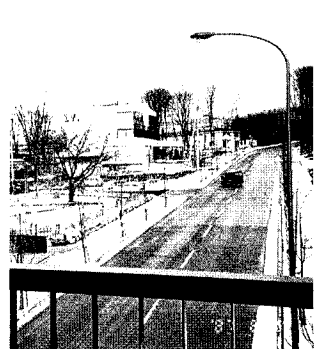


草木染



陶芸

「町の新しいスポット」 グリーンパーク通り



東部湯の丸インターへのアクセス道として昨秋開通したグリーン

ひだまり

子供の笑顔と共に 和こども文庫

絵本の読み聞かせ、人形劇や工作等を通し、年令の異なる子供たちに楽しさを共有できる場を創ろうと思い、会を発足して今年でやっ

と五年が経ちました。現在会員は八名で、毎月第二、第四土曜日に家族や子育ての情報を交換しながら、製作活動をしています。私たちが操る人形に親しく話しかける子供たち。何百年も語り継がれたお話の主人公とすぐ肩を並べられる子供たち。かかしが歌い、ライオンが泣き、子供達の想像力は縦横無尽です。

次の世代に伝えたいお話と子供の現在の想い、原作をどう表現する

パーク通り。生活道路としての利用度も増して、すっかり町の交通網の要になっていきます。道路本来の機能もさることながら、景観的にも周囲の建物や雑木林とマッチし、歩道の街灯が洒落た雰囲気を一層引き立たせています。特に文化館南側一帯、東部中への歩道橋から雪の烏帽子岳を仰ぎ見るなごめは圧巻といえます。サンテラスガーデンとともに四季折々の表情を持つ新スポットが、また一つ誕生しました。



のか等、奥村直氏の助言を頂き皆で話し合い、製作と練習が進みます。今年もそんな楽しい物語の世界を創って行こうと、「マリオネット・ピノキオの冒険」を作製中です。あやつり人形と影絵を使った大スペクタクルで、五月の子供フェスティバルの発表を目指して頑張っています。ほんとうに私たちの力ででき上るのか少々心配なのですが。請う御期待を。

トピックス

書道部会研修旅行

山梨の和紙の里・市川大門町
碑林公園見学

六月二十一日部会員三十八名はバスで一日充実した旅をした。千年余りの歴史を越えた中国一級国宝の書碑十四基が初めて日本の里に復元。日本の古典的な書も石に刻まれ採拓もできる。感銘し去り難い碑との出会いだった。



また、一月七日、中央公民館講堂で第五回新春書き初め大会が行われました。小学生、中学生七十五名参加。書道部会のみなさんの指導で心をこめた作品がそくそく。その後は生活改善推進協議会の皆さんによる雑煮で舌づつみ。作品は一月十四日までロビーに展示されました。

東部町文化協会会長杯争奪囲碁大会

棋道部会長 深町 亘

7月21日大会開催にあたり御多

忙のところ御臨席いただきまして有難うございました。

この結果については次のとおりです。

- 優勝 田中政徳 西田沢
- 準優勝 海野良三 上田市芳田
- 敢斗賞 山岸利夫 海善寺
- 服部清吉 東田沢
- 山崎孝治 常田

【活動報告】

なごやかに

第五回邦楽発表会

二月十六日サンテラスホールに於いて開催されたこの大会も数えて五回目。参加グループも会員もだんだん増して百六十人あまり。日頃の練習の成果を確認するかのようになごやかな演奏していました。聞いていても熱心に最後まで声援を送って、なごやかな一日をたのしんでいた。今後は、邦楽器のみでなく洋楽器とのアンサンブルも楽しんで行きたいと部会長さんは話して下さいました。



第18回民謡発表会

- ★登り釜展
8月24日(土)9月8日(日)
文化会館展示室
- ★14th TNSジャズ
オーケストラ・リサイタル
10月5日(土)
- ★第5回東部町短詩型文学祭
11月24日(日)
中央公民館講堂
- ★第18回民謡発表会
2月11日(火)
サンテラスホール
- ★親睦謡曲大会
2月11日(火)
中央公民館
- ★書道部会展
2月15日(土)19日(日)
サンテラス展示室
- ★第47回東部町美術会会員展
2月21日(金)23日(日)
文化会館展示室

東部町の農民美術

山本鼎展

十月十九日から二十七日までサンテラスホール展示室にて町内在住の作家、富岡建治、井出光夫、近喰和夫、土屋文貴の四氏による農民美術と山本鼎展が開催された。これは町発足四十周年と山本鼎没後五十周年を記念し行われたもので、四氏の作品百余点と山本鼎等の作品二十点余が展示され見学者の目を楽しませた。

文化協会役員研修会

お知ろせ

さを心と体でしみじみと感じとった楽しい研修の旅でした。
(中村通明)

★3月9日(日)午前9時30分、ホール

★18回舞踊発表会

主催 東部町文化協会舞踊部会

★3月16日(日)午前9時30分、

★17回琴伝流大正琴発表会

主催 東部町文化協会邦楽部会グループ
会館事業

★3月13日(木)6時30分、

★劇団四季アドベンチャーミュージカル

嵐の中の子どもたち

入場料 (全席自由) 大人 ¥4,000
小人 ¥2,000 親子ペア ¥5,000

★3月20日(木)、31日(日)午前10時午後6時
★玉村豊男絵画展 入場料 無料

編集を終えて

日ごとに暖かさを増し、風の色も春めいてきた。枯れ草の根元に小さく堅いふきのとうを見つけた早速おみそ汁に入れて(小さな春)賞味した。『せせらぎ十五号』発行には多方面より貴重なご寄稿をいただき、また多大のご支援でやっと発行に漕ぎ着けました。心より感謝申し上げます。今後も引き続き文化協会の活動などを順次ご紹介して行きます。ご意見、寄稿をお待ちしています。

みなさまにお届けしている『せせらぎ十五号』の編集委員は次のとおりです。

佐藤雄治・小松美どり・中村通明
細山成子・新田敬子・丸山純子



九月二十四日早朝三才山の向こうに聳える有明山の麓の文化の里を訪ねてサンテラスホール前を出発。お天気良好、バス内の雰囲気最高。

まず、穂高アイマスカシアターで信州博で話題を呼んだ世界最大級の大形スクリーンで躍動する信州シンフォニーに再開し、高まる胸のときめきをアートヒルズのガラスのおとぎの世界でゆっくり鎮わさびの効いた料理に満足。

お目当ての碌山館は残念ながら休館。予定を変更しての大町での思わぬ収穫はヘンリー・ミラー美術館での作者の自由奔放な画風とそのメッセージ

描く(書く・造る・奏でる)ことはふたたび愛すること

もう一度生きること

あらためて見直すこと

帰路、穂高アルプガーデンの可憐な花、花のほのかな香りに酔い、伊勢の皇太神宮と因縁の深い仁科神明宮の神々しさに触れて、限らない文化の発展と生涯学習の大切